第19回 目の健康講座

定期的な眼底検査を

「第19回　目の健康講座」が7月4日、大阪市北区の毎日新聞オーバルホールで開かれた。大阪大学大学院医学系研究科視覚先端医学寄付講座の前野貴俊教授が「～失明につながる眼底疾患～眼底検査を受けたことがありますか？」と題して講演した。その後、大阪府眼科医会学術担当理事の小嶌祥太さんの司会のもと、前野教授と同会理事の丸山耕一さん、城僖雄さんが参加者から寄せられた質問に答えた。講演のダイジェスト版は毎日新聞大阪営業部のユーチューブチャンネルで視聴できる（右のQRコードからアクセスできます）。

小嶌祥太さん

城僖雄さん

丸山耕一さん

質疑応答

Q　10年前から黄斑浮腫を患っており、道路の白線がまっすぐでないと感じる。元に戻す治療法はないのか。

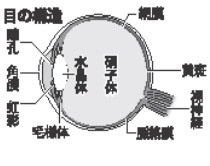
前野　黄斑浮腫に対する治療法として、抗VEGF注射や副子体手術があります。どちらが有効かは病態を見て判断しますが、治療しても視力が回復する可能性があります。なお、網膜や黄斑が元通りになることはできますが、視力が完全に元通りになることは難しいです。サングラスの着用や、遮光眼鏡を整えることで対応するのが基本となります。

Q　網膜静脈閉塞症と黄斑前膜が、緑色がゆがんでよく見えない。このまま様子を見るしかないのか。

前野　黄斑前膜は網膜の黄斑部に膜が張る病気です。膜を剝がす手術をすれば視力は上がりますし、ゆがみも改善することが多いのですが、網膜静脈閉塞症を伴っていると、手術をしても改善しないと、手術をしても改善しない可能性があります。セカンドオピニオンを受けることも考えてほしいですね。

Q　網膜中心静脈閉塞症と診断された。腫れが治らず手術したが、ゆがみは変わらず治ったのか不安だ。失明することはないか。

ただ、まぶしさの原因には他の疾患が関与している可能性もあります。原因を特定するためにも、かかりつけの医師に相談することをお勧めします。



正しい知識で 病気と向き合って

前野　網膜中心静脈閉塞症は眼底の静脈が血栓で詰まり、血管が破れて大量の出血を起こすため、網膜の病気の中でも重症疾患です。血流が滞りやすいタイプ（虚血型）と、そうでないタイプがあり、血流が極端に悪い場合は、レーザー治療などを行わないと、血管新生緑内障を発症し、失明に近い状態になるリスクがあります。

治療法としては、硝子体手術や抗VEGF注射があります。内服薬で血流を改善できるというエビデンスは現時点ではありません。基礎疾患として高血圧や糖尿病が関与していることが多いため、それらの治療を徹底することも重要です。手術をしても視力やゆがみが改善しない場合もあり、病態に応じて治療方針を検討する必要があります。

Q　我が子が2歳で網膜芽腫と診断されて6年になるが、完治は難しいか。

丸山　ぶどう膜炎は、眼科領域の病気の中で約5%を占める疾患です。眼球の黒目と白目の強膜に挟まれた部分で炎症が起こる病気です。日本で最も多いのは「サルコイドーシス」という病気で、国の特定疾患にも指定されています。炎症が長引きやすく、治療に抵抗し網膜前膜などさまざまな合併症を引き起こす可能性もあり、完治は難しい病気とされています。

まずはステロイドを用いた点眼治療や注射から始めます。改善しない場合は内服治療が必要になることもあります。難治病や動脈硬化、骨粗しょう症といった合併症のリスクが伴います。白内障などの合併症に対しては、それに応じた治療を行うことで視力の維持を目指します。飾め過ぎないで治療をしっかりと受けてもらってください。

Q　病的近視とは何か。近視から眼底疾患になることはあるか。

丸山　病的近視は、強度近視には区別される状態です。強度近視は、眼軸（目の奥行き）が長くなることでピントが合いにくくなる状態です。失明に直結するわけではありませんが、一方、眼球の後ろ側が膨らむ「後部ぶどう腫」という変化が見られるのが病的近視です。

病的近視は、眼球の変形によってさまざまな病気を引き起こす可能性があります。網膜が薄くなり、萎縮することで視力が低下する近視性黄斑症や、網膜に穴が開き、網膜剝離を起こす近視性黄斑円孔▽目の視神経が障害され、視野が狭くなる緑内障――などで、失明に至るリスクもあります。

Q　病的近視と診断されたが、眼鏡やコンタクトレンズで矯正できるか。

病的近視でも、矯正視力は1.0以上出ることが多いです。ただ、網膜が薄くなっていたり、網膜剝離を起こしていたりすると、矯正視力が出ない場合もあります。

Q　緑内障の治療法は。

緑内障は、視神経が障害され、視野が欠けていく病気です。治療の目的は、これ以上視野が欠けないようにすることです。

緑内障には、大きく分けて二つのタイプがあります。

一つは、眼圧が高くなることで視神経が障害されるタイプです。眼圧を下げる点眼薬やレーザー治療、手術などがあります。

もう一つは、眼圧は正常範囲内でも視神経が障害されるタイプです。眼圧を下げる治療に加え、視神経を保護する点眼薬などがあります。

Q　緑内障の検査は。

緑内障は、視野検査や眼圧検査、眼底検査などを組み合わせて診断します。

Q　緑内障の治療法は。

緑内障は、視神経が障害され、視野が欠けていく病気です。治療の目的は、これ以上視野が欠けないようにすることです。

緑内障には、大きく分けて二つのタイプがあります。

一つは、眼圧が高くなることで視神経が障害されるタイプです。眼圧を下げる点眼薬やレーザー治療、手術などがあります。

もう一つは、眼圧は正常範囲内でも視神経が障害されるタイプです。眼圧を下げる治療に加え、視神経を保護する点眼薬などがあります。

Q　緑内障の検査は。

緑内障は、視野検査や眼圧検査、眼底検査などを組み合わせて診断します。

Q　緑内障の治療法は。

緑内障は、視神経が障害され、視野が欠けていく病気です。治療の目的は、これ以上視野が欠けないようにすることです。

緑内障には、大きく分けて二つのタイプがあります。

一つは、眼圧が高くなることで視神経が障害されるタイプです。眼圧を下げる治療に加え、視神経を保護する点眼薬